

# 磐田市子ども向け試験導入

# お薦めの本 AIに相談！



磐田市は、人工知能(AI)を活用し、子どもに絵本や児童書を推薦したり、本の内容や感想をロボットと対話したりする一つのシステムを、図書館機能を持つ子育て支援施設「ひと・ほんの庭にこっこ」(同市上新屋)に試験的に導入する。図書の出し出し点数が減少する中、子どもが本に親しむきっかけづくりにつなげる。

## 「にこっこ」感想対話システムも

市は18日、システムを開発したNTTコミュニケーション科学基礎研究所(京都府)などと連携協定を結ぶ。導入費用はNTT側が負担する。全国自治体で3例目の導入となるAI絵本推薦システムは同日に設置する。未就学児が対象。ロボットやパソコン画面上の質問に答えていくと、AIがにこっこ所蔵の約3千冊の中から子どもの興味がある本を選んでくれるという。

AIで子どもに絵本や児童書を推薦するシステム

全国で初めて導入するAI読書感想対話システムは小学生が対象で、9月ごろの導入を予定する。絵本・児童書約100冊の内容や感想などをロボットと音声チャットのように対話できる。

また、市とNTT印刷(東京都)は共同で、2歳以下の子どもを持つ家庭を対象にした絵本モニターを今月20日～8月10日まで募集し、絵本の読み聞かせなど家庭での読書活動に関するアンケートを実施する。子どもと保護者が本と触れ合う機会などについてデータを集める。回答者の中から抽選で120人に、子ども自身が主人公になる「パーソナル知育絵本」をNTT印刷から贈る。

(磐田支局・八木敬介)

『静岡新聞』2023年7月14日付16面